

河内長野ガスグループ

# CSRレポート2019



# I N D E X

I. Top Message 社長のメッセージ	.....	1
II. 河内長野ガスグループのCSR活動に関する基本的な方針	.....	2
III. 安全面の取り組み	.....	3
IV. 環境面への取り組み	.....	6
V. 地域貢献面の取り組み	.....	7
VI. 働きやすい環境を目指して	.....	12
VII. コンプライアンスへの取り組み	.....	13
1. コンプライアンス会議		
2. コンプライアンスアンケート		
3. コンプライアンス研修会		
4. コンプライアンス相談窓口		
5. 地域とともに歩む河内長野ガスの社会貢献活動とSDGsの取り組み		

## I. Top Message 社長メッセージ——Think globally、Act locally——

平素は河内長野ガスグループの事業にご支援をいただき誠に有難うございます。

さて、この度、2018年の河内長野グループのCSR（企業の社会的責任）活動を三冊目のCSRレポートとしてまとめましたので関係各所の皆さまに配布させていただきます。ご一読頂ければ幸いです。

電力・ガスの小売り自由化がスタートして3年目。我々のグループは地域密着の事業者として自社の成長を図るとともに地域が抱える課題を解決することにより地域の成長をも図っていきたくと考えております。我々はグループで連携して、2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な世界を実現するための国際社会共通の目標。詳細は2ページをご参照ください）を地域の課題解決の目標として取り組んでいきたいと考えております。まさしく「シンク グローバリー、アクト ローカリー（地球規模で考え、地域の規模で行動する）」を実現し、地域の課題解決に導いていきたいと考えております。引き続き皆様のサポートをいただけますようお願い致します。

2019年6月7日



河内長野ガス株式会社  
株式会社リビングセンター長野  
代表取締役社長

山本明彦

私たちは、地域の皆さまに役立つ企業であるため、「私たちの約束（行動指針）」及び持続可能な開発目標（SDGs）のもと、取り組んできた5つの活動をこのレポートにまとめました。自然が豊かで、美しいこの街を守るため、私たちは、皆さまとともに取り組んで参ります。

### 経営理念

地域の活性化に貢献する企業グループ

私たちの活動は、私たちの約束（行動指針）に基づいています。

### 私たちの約束（行動指針）～地域のお客さまの笑顔が見たい～

- 1 私たちはお客さまの安心・安全を第一に行動します。
- 2 私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。
- 3 私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。
- 4 私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくります。
- 5 私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、社会人として責任ある行動をとります。

## Ⅱ. 河内長野ガスグループのCSR活動に関する考え方



私たちは、自然に恵まれた河内長野で天然ガスの供給を通じ、地域の皆さまの快適で安全な生活をお届けしております。

私たちの活動は、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）において、以下の課題解決に貢献すると考えています



### SDGsのゴール

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう            | 10 人や国の不平等をなくそう      |
| 2 飢餓をゼロに             | 11 住み続けられるまちづくりを     |
| 3 すべての人に健康と福祉を       | 12 つくる責任 つかう責任       |
| 4 質の高い教育をみんなに        | 13 気候変動に具体的な対策を      |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう      | 14 海の豊かさを守ろう         |
| 6 安全な水とトイレを世界中に      | 15 陸の豊かさも守ろう         |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に      |
| 8 働きがいも経済成長も         | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう    |                      |

### SDGsへの貢献

SDGsは、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための国際社会共通の目標として、17のグローバル目標（ゴール）・169のターゲット（達成基準）が設定されています。河内長野ガスグループは、事業活動を通じて、これらの課題解決に貢献する取り組みを進めていきます。



### Ⅲ. 安全面の取り組み

私たちの約束 1 「私たちは、お客様の安心安全を第一に行動します。」



#### 1. 防災についての取り組み

私たちは、災害の発生に備え、河内長野市と協力関係を築くなど様々な対策を実施しています。

##### ① 「災害時支援施設」について

河内長野ガスグループの社屋は、河内長野市との協定により「災害時支援施設」として、災害発生時には河内長野市の要請によりショールームや災害ベンチ、災害時用簡易トイレ（マンホールトイレ）等の災害支援設備を貸し出します。

2015年度と2016年度には「災害時支援施設」を活用して、市民向けに河内長野市民大学くろまる塾認定講座である「防災まちづくり講座」が開催されました。

2017年6月に、河内長野市の市長と副市長ならびに市役所の方々をお迎えし、弊社の社屋を見学していただきました。

また、2018年2月には、河内長野市との協定の前段階で実施された「防災まちづくり勉強会」で座長を務めていただいた紅谷昇平先生（当時神戸大学社会科学系教育研究府 特命准教授）からの要請で、現在准教授を務めておられる兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科のゼミ生5名が来社され、施設を熱心に見学されました。

2019年3月に、（公社）大阪府建築士会主催の講習会（災害時における事業継続が可能な建築物の対策）のなかで、「河内長野ガス本社・防災支援施設におけるBCPの取り組み」をテーマに講演を行いました。



調停式の様子



マンホールトイレ



災害ベンチ



防災まちづくり講座の様子



市長社屋見学の様子



兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科のゼミ生見学の様子

## ② 地震・災害への対策

私たちは、地震・災害に対するより一層の安全性の向上を目指して、さまざまな安全対策を講じています。

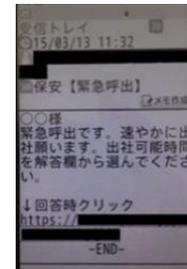
1) 耐震性の高いガス導管  
道路に埋設されているガス導管は、中圧・低圧導管ともに耐震強度に優れたポリエチレン管を採用しており、大規模地震による損傷を最小限にとどめるように対策をしています。

2018年12月末実績  
耐震化率98.3%（全国平均87.1%）



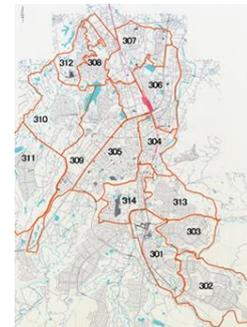
ポリエチレン管への取替作業の様子

2) 緊急動員体制  
供給区域内で震度4以上の地震が発生した場合は、休日夜間でも全社員が自動出社することを規定しています。また地震以外の災害発生時には、携帯メールによる緊急呼び出しシステムで出社の要請をいたします。



緊急呼び出しメール

3) 地震発生時の緊急対策  
大規模な地震により被害が発生した場合は、情報を収集・集約し、迅速かつ適切な措置を実施します。その際、二次災害の防止のため、やむを得ない場合は最小限度のお客さま宅に、ガスの供給停止をお願いすることがあります。また、弊社の供給区域をブロック化することにより、より細かく供給停止範囲を制限できるようにしています。



ブロック化された供給区域

4) 教育・訓練  
河内長野市が大きな被害を受けると想定される地震や異常気象に備え、全社員による訓練を実施しています。また、ガス漏れ等の緊急時対応に備えて、訓練施設等での実技教育を定期的に行っています。



地震訓練の様子



実技教育の様子

## 2. 保安体制について

私たちは、都市ガスを供給する企業として、お客さまの安心・安全に向けた取り組みをしています。

### 安心・安全の保安体制

私たちは、お客さまから緊急通報があれば迅速に対応できるよう出動体制を常に整えているとともに、日々、都市ガスの安定供給とガス導管の維持管理に努めています。

#### 1) 365日・24時間の緊急出動体制

お客さまが安心してガスをお使いいただけるよう、ガス漏れや火災等の緊急事態に備えて、いつでも緊急車両で出動できる体制を整えています。



緊急車

#### 2) 都市ガスの安定供給と監視システム

お客さまに安定したガスをお届けするために、都市ガスの受入設備や河内長野市内に設置しているガス整圧器を通信システム（テレメーター）で常に監視し、安定したガスの供給に努めています。



供給管理センターの様子

#### 3) ガス導管の維持管理

お客さまに安全にガスをお届けするために、定期的にガス導管のガス漏れ調査を実施しています。

また、他工事（水道、下水、電気、電話工事）などによるガス管の破損防止のため、他工事業者との事前の工事打合せや工事現場での立会・パトロールなどを行っています。



地中のガス管を調査する様子

#### IV. 環境面の取り組み

私たちの約束 3「私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。」

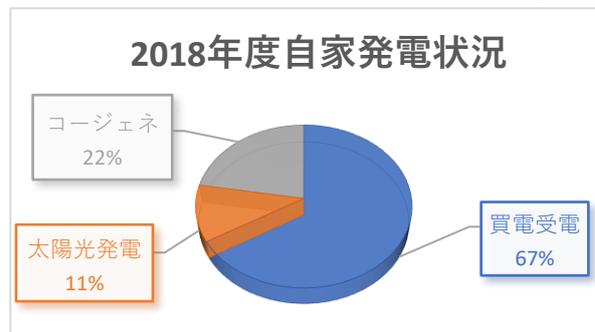


### 省エネ・環境性を配慮した社屋

私たちは、エネルギー供給会社だからこそ、エネルギーを大切に使うことの重要性を理解しています。2014年に竣工した社屋には、省エネ、環境面の配慮が施されています。

#### ① 自家発電

社屋屋上に20kwの太陽光パネル及び35kwのガスコージェネレーションシステムを2台設置し、自家発電により社屋で使用する全電力の約3割をまかっています。



#### ② 河内材の使用について

河内長野市は豊かな森林に恵まれ、古くから河内林業地として木材を生産してきました。河内長野ガスグループでは、新社屋を建設する際に、この地場産の河内長野杉を床面や壁面に用い、木の温もりを感じる空間に設えました。



河内材のシンボルマーク



社屋内の様子

#### ③ 省エネを実現する機能

セミナー室や風除室は、ペレット式空調を設置しています。これは間伐材を利用した木質ペレットを燃焼させる冷房・暖房機です。森林資源の循環ができ、カーボンニュートラルで地球温暖化防止に貢献するシステムです。

また、外壁にひさしを設けて視界を確保しながら日射を抑制しています。

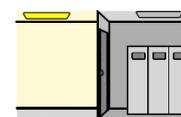
更に人を感知し照明を点灯、ファンを稼働、人がいない場合は自動的に照明を消灯・ファンを停止することにより、省エネを図ります。



ペレット式空調屋外機



ひさしによる日射抑制



不在時照明OFF



在室時照明ON

## V. 地域貢献面の取り組み

私たちの約束 3 「私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。」



### 1. 次世代育成の推進

将来を担う子ども達を、環境面において教育していくことが私たちの社会的責任と考え、長年にわたり地道な活動を行っています。

#### ① 「小学校環境教育出前授業」

2006年度よりガスの供給を通じて地域にかかわる会社として、地域で学ぶ次世代の育成に貢献できればと考え、河内長野市教育委員会と連携し、河内長野市内の各小学校を対象に地球温暖化問題を中心としたエネルギー環境教育を行い、2017年度まで延べ55の小学校に125回の授業を行いました。

#### プログラム

##### 「A：地球温暖化を学ぶ」

地球温暖化の影響や地球温暖化のしくみについて学ぶ。

##### 「B：くらしの見直し隊」

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量を削減することについて、ゲーム形式で楽しく学ぶ。

##### 「C：ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」

マッチ、ろうそく、ガスコンロの炎の観察と食材をつかった燃焼実験（あぶり）を通じて燃焼に必要な条件、燃え方の違い、火の色々な役割を学ぶ。

#### 2018年度の活動内容

##### ・高向小学校

2018年9月11日（月） 5年生「地球温暖化を学ぶ」

2018年9月13日（木） 6年生「ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」



5年生の授業風景



6年生の授業風景



i 「環境教育出前授業」は、大阪府から功績が称えられ、2016年度「おおさか環境賞 準大賞」を授与されました。

## ② 「天見 子ども自然とあそびの教室<sup>ii</sup>」活動協力

河内長野ガスグループは小学生とその保護者を対象とした「天見子ども自然とあそびの教室」に協賛し、天見地区の自然（山野・川）を生かした種々の体験活動のサポートをしています。2018年度は5月から1月（8月を除く）まで、毎月1回、合計8回開催されました。今年は応募があった71名の中から抽選で36名の子ども達選ばれました。集まった子ども達は、普段、あまり触れることのない自然を前に目を輝かせていました。この活動には河内長野ガスグループの従業員もスタッフとして参加し、活動協力をしました。

14年間続いたこの教室は、地域の環境の変化やスタッフの高齢化などにより、2018年度が最終回となりました。毎年たくさんの応募があり、延べ562名の子どもたちがこの教室に参加しました（応募者総数1085名）。子ども達の成長に大きく寄与する教室だっただけに大変残念です。しかし、この活動を通じて、子ども達は得難い経験をしました。それは、子ども達の宝物となったに違いありません。「天見子ども自然とあそびの教室」を卒業した子ども達の今後の活躍が楽しみです。



教室の様子

### 2018年度各月の活動内容

参加者総数 36名（応募総数71名）

- 5月20日（日）「野や山の宝物さがし」
- 6月17日（日）「ネイチャーゲーム」
- 7月15日（日）「竹のクラフト」
- 9月16日（日）「川あそびと魚釣り」
- 10月28日（日）「家族と天見でカーニバル」
- 11月18日（日）「天見の里山チャレンジハイク」
- 12月16日（日）「しめ縄づくり」
- 1月13日（日）「落ち葉で焼いもとゲーム」

### 参加した従業員の感想

- ・裏側で、事前の準備から当日のサポート等で多くの大人の方が動いていらっしゃるのを見ることができました。
- ・我社の若い社員も是非体験される事をお勧めいたします。
- ・魚釣りは虫エサと言うこともあり、針にエサを付けることに四苦八苦しておりましたが、数名の親御様のフォローもあり、子供たちも楽しんでおりました。
- ・地域の子供達が地元の自然の中で遊ぶ光景を見る事により、このような活動の必要性を感じました。

## ③ 「職場体験学習」として男子中学生2名を受け入れました。

河内長野ガスグループは、中学生の「職場体験学習」を受け入れています。定期保安巡回（各ご家庭のガス管やガス機器の点検作業）やガスマイコンメーターの取替作業等ガス会社の様々な仕事を体験してもらいます。



実習をする中学生

### 2018年度実績

11月8日（木）～9日（金）  
加賀田中学校 男子中学生2名



修了書を受ける中学生

<sup>ii</sup> 「天見子ども自然とあそびの教室」は2017年度「おおさか環境賞 協働賞」を受賞し、河内長野ガスグループとして2年連続の受賞となりました。

## 2. 地域振興

市内で開催される地域振興イベントに協賛やブース出展をしています。また、2018年度は、従業員の自主的な地域貢献活動を表彰する制度を創設しました。

### ① イベントへのブース出展

市内で開催されるイベントでは、CSR活動やガスに関する事項、地球温暖化等の紹介パネルを展示しています。

2018年度実績

5月13日(日)「第26回河内長野市民まつり」  
地球温暖化についてパネル展示／クイズ



市民まつりの様子



ボランティア  
フェスティバルの様子

2月24日(日)「第18回ボランティア市民活動フェスティバル」  
CSR活動についてパネル展示



生活情報展の様子

3月2日(金)～3日(土)「みんな集合!!生活情報展」  
ガスメーターについてパネル展示／クイズ

### ② 「自衛消防隊部会 視閲式・消火技術錬成会」への参加

河内長野市防火協会自衛消防隊部会の視閲式並びに消火技術錬成会が、河内長野市小山田町の河内長野市消防本部屋外訓練場において開催され、錬成会では市内の各事業所が参加し、日ごろから積み重ねた訓練の成果を披露します。2018年度、河内長野ガスは、並み居る強豪を抑えて、消火器競技の部で見事優勝しました。



2018年度実績

10月17日(水) 消火器競技の部 優勝  
屋内消火栓競技の部 準優勝



錬成会の様子

### ③ 「くろまる塾<sup>iii</sup> 認定講座 ボランティア入門講座～世界に活かそうあなたの力を!～」にオブザーバーとして参加

この講座は、私たちの身近で起きている諸問題について、SDGsの目標に基づいて地球規模でできる事を一緒に考えていこうというものです。第一部は大阪大谷大学 人間社会学部の岡島克樹教授による「SDGsについて」の講演があり、第二部は、高校生やくろまる塾の塾生、河内長野ガスをはじめとした民間企業や民間団体ごとに班分けし、意見を出し合い、発表しました。



講座の様子

7月22日(日) 於 市民交流センター(キックス)

<sup>iii</sup> 河内長野市民大学「くろまる塾」とは、市独自のコミュニティカレッジとして、平成23年6月に開校しました。くろまる塾は「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも・みずから」学ぶための学習の場と機会を提供していくくみです。

#### ④ 河内長野市アドプト・ロード・プログラムに賛同

河内長野ガスグループは、河内長野市の掲げる「河内長野市アドプト・ロード・プログラム」に賛同し、本社周辺の「アドプト・ロード・プログラム」と名付けた歩道の清掃活動を全従業員で定期的に行っています。

2018年度実績  
全従業員一斉清掃 5回（4月26日（木）、  
7月19日（木）、11月1日（木）、12月13日（木）、  
3月7日（木））



近隣清掃の様子

#### ⑤ 地域貢献活動に取り組んでいる従業員を表彰しました。

河内長野ガスグループでは、この度、日頃から地域貢献活動に取り組む従業員を表彰する制度を創設しました。

2018年度実績  
受賞者 2名  
受賞した活動内容

- ・ 地元神社や河川の清掃活動をはじめ、PTA活動や不登校児のサポート等幅広い活動
- ・ 20年にわたる地元の地車保存会での活動



表彰される従業員

#### ⑥ 河内長野ガスグループ将来構想検討委員会

2017年度と2018年度の2年間（計8回）に渡り、学識有識者をはじめとして市内の民間企業代表者、市役所幹部にお集まりいただき河内長野市における高齢化や人口減少等の諸問題及び河内長野ガスグループ内部の課題を議論しました。



将来構想検討委員会の様子

### 3. 募金活動

#### ① 盲導犬育成に尽力されている社会福祉法人日本ライトハウス様に寄付いたしました。

7月13日(金)、社会福祉法人日本ライトハウス様に夏のガス展(6月8日(金)～10日(日))における縁日コーナーの売上金(20200円)を寄付いたしました。

日本ライトハウス様からは、歩行訓練士の大西様が盲導犬のアドちゃんを連れてお越しになり、当社は、感謝状を頂きました。



歩行訓練士の大西様と盲導犬のアドちゃん

#### ② 日本赤十字社様に7月豪雨災害に対する義援金を寄付いたしました。

西日本を中心に甚大な被害が出た台風第7号及び前線等に伴う大雨災害により被災された方々を支援するためショールームで募金活動を行い、11月20日(火)、集まった金額(20577円)を日本赤十字社様に寄付いたしました。

#### ③ 河内長野市社会福祉協議会様に寄付いたしました。

12月26日(水)に、河内長野ガスグループは河内長野市社会福祉協議会様に、11月2日(金)～4日(日)に開催されたガス展での縁日コーナーの売上金(45200円)を寄付し、吉村会長から感謝のお言葉をいただきました。



ガス展での縁日コーナーの風景



## VI. 働きやすい職場づくりの取り組み

私たちの約束 4「思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくりまします。」



### 働きやすい職場環境をめざして

私たちは、従業員一人ひとりが仕事を効率化して、生産性をあげ、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境をつくっていきたくと考えています。

#### ① ワークライフ・バランスへの取り組み

ワークライフ・バランスを推進するため、2018年度より「働き方改革」の一環として、土曜日出勤者は、翌週の月曜日が指定休日となる制度を取り入れ、年間休日を104日から122日に増やしました。一方で、従業員の労働時間に対する意識を向上させるため、コンプライアンス会議において、休日出勤、時間外労働の状況を確認しながら改善に取り組んでいます。

働く従業員を支援するため、育児介護休業制度の利用を促進しており、3歳に満たない子を養育するため必要があるときは会社に申し出て育児短時間勤務制度を適用できるようにしています。

また、福利厚生として、河内長野ガスグループは福利厚生倶楽部（リロクラブ）に加入しています。

更に、遠方から勤務している役員はテレワーク（在宅勤務）制度を利用しています。

#### ② 業務改善への取り組み

タブレット端末導入等により業務を効率化しています。

また、今後の取り組みとして、AIやIoTなどのIT技術の導入などにより柔軟な働き方の推進と業務効率化を目指しています。

#### ③ 従業員の意識改革について

2018年度に策定した中期計画では、河内長野ガスグループの中期的な方向性やビジョンを示すとともに、従業員の意識改革を促す内容を盛り込みました。

#### 河内長野ガスグループの長期ビジョン

##### 【地域にとって】

地域インフラを担う企業であり、地域の活性化に貢献する企業としてかけがえのない存在

##### 【従業員にとって】

みんなが元気で生き活きと動き、河内長野ガスグループで働くことがステータスとなっている

##### 【経営状態】

河内長野ガスグループ合計で経常利益率5%を達成し、グループ各社のそれぞれの事業が黒字となっており、新規事業が第3の柱となっている

## Ⅶ. コンプライアンスの取り組み

私たちの約束 5「私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、社会人として責任のある行動をとります。」



### 私たちの仕事に責任と誇りをもって

私たちは、全ての役員および従業員が、コンプライアンスを確実に遵守することで、地域の皆さまからの信頼を得る健全な会社を目指しています。また、コンプライアンスを法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む企業倫理の観点から捉え、お客さま、取引先さまなど全ての人々と公正な関係を維持し、信頼をより強固なものとすることに努めています。

社員一人一人がコンプライアンスについて意識を高め、地域の皆さまに信頼される企業でありたいと考えています。

#### ① コンプライアンス会議

月に1回、企業法務の専門家である追手門学院大学 教授 水野浩児先生をコンプライアンス担当顧問としてお迎えし、ボードメンバーや社員代表からなるコンプライアンス委員によるコンプライアンス会議を開き、グループ全体のコンプライアンスに関する事案の対策検討、情報、意見交換を行っています。

#### ② コンプライアンスアンケート

全従業員を対象にしたコンプライアンスに関するアンケート調査を定期的を実施し、コンプライアンスに関する問題の早期発見にも繋げるとともに、全従業員のコンプライアンスへの意識付けをしています。

回答率：2016年度 95% 2017年度 98% 2018年度 96%

#### ③ コンプライアンス研修会

全従業員を対象に年に1回、追手門学院大学 教授 水野浩児先生を講師としてコンプライアンス研修会を実施しています。研修会では、その年のタイムリーなテーマを取り上げ、従業員の意識付けを徹底しています。

2018年度実績

7月25日（水）、7月27日（金）の2日間 全従業員対象

研修テーマ

個人情報に関する重要性、SNSに関するリスクや2018年7月に法改正された受動喫煙防止法等



研修会の様子

---

#### ④ コンプライアンス相談窓口

---

河内長野ガスグループでは、コンプライアンスに関する相談及び報告制度として、追手門学院大学 教授 水野先生に直接相談できるコンプライアンス相談ラインを設置しています。

---

#### ⑤ 地域とともに歩む河内長野ガスの社会貢献活動とSDGsの取り組み

---

河内長野ガスグループは地域とともに歩む企業であり、河内長野の発展なくしては、河内長野ガスグループの将来はあり得ません。河内長野ガスグループの長期ビジョンである「地域のお客様の笑顔獲得ナンバーワン企業」と「地域のお客様に最も信頼され、支持される企業」を念頭に「地域のための企業」であることを意識しながら日々の活動を行う必要があります。CSRすなわち企業の社会的責任を果たす取り組みは、河内長野ガスの本質的な活動であり本レポートに掲げる取り組みは、河内長野ガスグループの役職員が日々地域の事を考えて取り組んだ証ともいえます。

そのような中、社会の支柱とすべく提唱されている国連の持続可能な開発目標（SDGs）では、2030年までに世界各国が力を合わせて達成すべき17のゴールと169のターゲットが掲げられました。地域のインフラを担う河内長野ガスグループにとって、SDGsを意識した取り組みを行うことは、地域発展・環境問題・教育支援・健康と福祉など様々な各取り組みが河内長野ガスの取り組みと一致するものであります。SDGsに掲げられている環境や人権・教育などに配慮した企業活動を行うことは、河内長野ガスグループの活動と地域の皆様の需要と供給の歯車がかみ合うことにつながります。これまで河内長野ガスグループのCSR活動は、社会貢献としてどれだけの価値を持つかが見えにくかったのですが、SDGsに照らし合わせながら整理していくことで、CSR活動のもたらす価値がより鮮明に社会や地域の皆様に伝わり、河内長野ガスグループの存続にも関わっていくのではないかと考えます。

河内長野市に関わる有識者や行政のメンバーで構成されている「将来構想検討委員会」では高齢化社会の進行が早い河内長野市の課題と解決策を様々な側面から検討し、河内長野ガスグループとしてしなくてはならないことなどを確認し、本格的な自由化を前向きに考え地域課題の解決につながるヒントを検証しています。この取り組みは河内長野ガスが地域を代表する企業であることを再認識するものです。

2017年4月からガス小売りの全面自由化がスタートしました。地域に貢献できる新規事業の取り組みを検討するなど河内長野ガスグループの実力発揮の時代が来ているとも考えられます。地域の方にとってなくてはならない存在であり続けるために、これからもコンプライアンスやガバナンス（企業統治）等を強化し、地道な活動を続け、地域の皆様に「評価」されるパートナーになるよう、専門家として助言していきたいと考えています。

今後は地域の皆様にSDGsといえば河内長野ガスグループを思い出していただける企業になることを願い、結びとさせていただきます。



追手門学院大学 経営学部学部長 教授 水野浩児